

## 2024（令和6）年度市政懇談会 開催結果概要

- 日 時 令和6年7月31日（水）午後6時00分～
- 会 場 阿寒町公民館
- 出席者 22人

### 〔副市長より説明（別途資料参照）〕

- （1）都心部のにぎわいづくりについて
- （2）災害時の避難所について
- （3）阿寒地区の取組について

### ●質疑応答

#### 【参加者A】

昨年の6月に木を伐採し、今年の3月に太陽光パネルを貼りだした時に地域住民説明会を行っていました。9か月後です。それはいいのではないのでしょうか。ガイドラインはよくわかりませんが、木を伐採される前でしたら、そこにはツルのつがいがあり、子育てしていましたから守ってあげられたと思います。釧路市として大自然をどのように生かしていくのですか。国道240号線がソーラーの街道みたいになって、私は危惧するところがあります。鶴公園でお客様に聞かれたときも、「私も悩んでいる一人です」と答えたことがあります。「自然がいいところなのに、こんなことしなくてもいいのではないか」とその人もおっしゃられていました。私も阿寒に移り住みました。この大自然とお水はお金で買えません。この大自然をお金を払って守らないといけない時代なのではないでしょうか。それについてはどうお考えですか。

#### 【秋里副市長】

特に阿寒エリアは非常に自然豊かな地域であります。こちらに移り住まれたということで、さんさんとした太陽のもと樹木もたくさんあり、水も空気もきれいで、ぜひそれを残してほしいというご質問です。やはり、釧路市の魅力は類まれなる大自然と思っています。それは普段の我々の身体も整えてくれますけれども、観光としてこれを見に来られる方がいるとともに、いろいろな生産物の源になっていると思います。このことから、しっかりとこの大自然の恵みを意識して、産業を伸ばす部分とバランスを取っていくことが大事と思っています。このことについてはしっかりと取り組んでいきたいと思っていますので、お気づきの点がございましたら教えていただきたいと思います。

#### 【参加者B】

先ほど副市長の話のとおり、津波の被害はないと思いますが、現実問題として大雨で避難指示が出たことがありました。阿寒川と舌辛川があり、2年前に1時間に100ミリの雨が降って、地域住民に避難指示が出たと記憶しています。そういうこともありますので他人ごとではないと考えています。

続いて、地震に伴う津波で釧路の中心部に被害が出る中で、ほとんどの人が阿寒地区を目指して逃げてくると思います。その中で、地震の規模によりますが国道や道道も浸水し避難できないと思いますので、今建設中の高速道路が避難路として有効な使い方があると思います。私も含め釧路の市民は気にしていると思いますが、国交省のホームページを見ても本当に来年3月までに開通するのかと思っています。噂だけが先行していますが、来年3月までに中央インターまでつながるだろうという感想を持っています。通れば市民の利便性は高まりますし、私は野菜を作っていますので、流通などいろいろな面で波及効果があると思います。今は不安もありますが期待もあります。差支えない範囲でお話しただければと思います。

もう1点は、高速道路の開通は一大イベントですので、セレモニーも何もなく「通りましたお疲れ様」ということにはならないと思います。もう半年前ですので、差支えない範囲でお話しいただきたいと思います。

#### 【吉田副市長】

津波の浸水区域ではないですが、洪水の区域ではないかというお話ですが、その通りでございます。津波の浸水につきましては、シミュレーションの結果からも明確でございます。問題は洪水です。令和3年11月の避難指示が出たときは、私は総務部長であり警戒本部の本部長として避難指示を出しました。それでは洪水の時の避難の考え方ですが、津波と異なり、洪水の場合は降雨から始まりますので、降雨の量や河川の水位は災害対策本部でしっかりと把握することができております。气象台とは細かな連絡を取っておりますので、増水の予想、氾濫の予想は事前に察知できており、これに基づき、高齢者等の避難や全市民の避難が間に合うように避難指示を出しています。先ほど説明しました「避難場所」と「避難所」の考え方ではなく、「避難所」を適切な場所に確保し、広報しておりますのでご安心いただければと思います。

高規格道路につきましては、国の釧路開発建設部が施工しております。国は我々地域に対して、令和6年度内の開通を明言しており、今日現在それが遅れるという連絡はいただいております。ですから、遅くとも令和7年3月までの完成に向けて順調に進んでいるものと考えています。

また、開通に向けて何もしないのかと言いますと、決してそうではなく、高速道路の期成会が中心となって開通のセレモニーが開かれることとなっています。

#### 【参加者C】

災害について、ブラックアウトやその他の大きな震災があった地域では、「0000 JAPAN(ファイブゼロ・ジャパン)」というwi-fiにつないでインターネットが使用できる状況があって、釧路市街は大丈夫と思いますが、阿寒町において非常時のネット環境が使える状況になっているのかという素朴な疑問でした。わかりましたら教えてください。

#### 【阿寒町行政センター長】

「00000 JAPAN(ファイブゼロ・ジャパン)」ですが、民間企業のサービスとして基本的には日本全国どこでもつながることはできます。また、安否確認で災害伝言ダイヤルにつながりことはできます。しかし、インフラ部分がやられてし

まえば使えなくなりますので、災害の規模によるという回答になります。

**【参加者D】**

病院関係で今まで阿寒診療所に札幌医大から来ていただいていた三木先生は10年以上いらっしゃいました。今は苫小牧の病院で副院長として活躍されています。その後、三木先生の後輩である西川先生が阿寒診療所に月に1回来ていただいて、循環器科で受診している患者を診ていただいています。大変助かっています。阿寒町に札幌医大から10年以上も先生が来てくれていることは、市長の力添えによるものと私は思っています。感謝しております。

次も病院関係です。私も西川先生に診てもらっています。昨年受診した時に、どうも先生の調子が悪いので聞いてみると、「阿寒町が暑くて昨晩は寝られなかった」ということでした。それで事務長やセンター長に「令和6年度の予算で何とかクーラーを付けられないか」と言いましたが、「予算が認められなかったので付かない」とのことでした。今日は蝦名市長に直接会えるので、申し出しようと思いましたが、副市長、確約できますか。

**【秋里副市長】**

市長に必ず伝えます。先生方の環境を整えることも必要ですので、どのような形がいいのか今は明言できませんが、地域にとって医療が非常に大切だということは理解しています。環境を整えることについてしっかりと考えていきたいと思えます。

**【参加者D】**

よろしく願います。阿寒診療所の2階に入院している方もたくさんいます。看護師さんも頑張っています。きちんと検討している姿を見せて欲しいと思います。

次に中央町の歩道について、阿寒建設課長は今日来ていますか。冬に除雪車が敷石を持ち上げたことについて相談に行った者がいると思いますが、どういう対応をして決着したのか教えてください。その人は砂利石がないということで、自分の敷地の舗装をやるときに、一緒に歩道の舗装をしたという結果を課長は知っていますか。

**【阿寒建設課長】**

今その案件についてはわかりませんので、後ほどお話を伺ったうえで確認し、回答させていただきたいと思えます。

**【参加者D】**

歩道とセンターラインくらいは市でやってくれたらいいのではと思っています。

**【吉田副市長】**

歩道の件につきましては、今この場で具体的な場所についてお答えできる知識がございませんので、後ほど詳しいお話を聞かせていただいて後日回答することです。よろしいでしょうか。

**【参加者D】**

わかりました。

**【参加者E】**

全国的にクマの出没があり、釧路も新聞報道では網戸を破るようなことも起きています。市ではこういった場合はクマを駆除するマニュアルを作っていますか。

**【阿寒町行政センター長】**

市としてマニュアルはございます。今手元に資料はございませんが、場合によって追い払いや駆除を行います。駆除の定義につきましては、人を恐れないことや民家のゴミを食い荒らすような場合になります。

**【参加者E】**

なぜ聞いたのかと言いますと、作った後市民に配れば市民も安心すると思います。もしできれば配ってほしいと思います。

次に、日本製紙跡地に日本最大の製材工場が来るということで、阿寒町には農業も林業もあり、林業は大事な阿寒町の資産です。工場が来ることによって、阿寒町の林業が市としてどういう方向に向かっていくように指導していくのか聞かせてください。

**【産業振興部長】**

林業は人手不足や賃金の問題などいろいろ改善すべき課題があると思います。大きな工場ができ、産業振興につながり、従業員の賃金に波及するといった好循環を作っていくことを企業と話をしているところです。地域の活性化が一番だと思いますので、そのように進めていきたいと思います。

**【参加者E】**

林業を守ることももう一つ大事なことは、我々の生活に必要な水資源です。森がきちんとできて、そこからおいしい水が生まれます。製材業者が来ることによって乱獲があってはいけないと思います。このことを市もしっかりと受け止めながら対応を会社と検討して欲しいです。これについて答えは要りません。

もう一つ学校について、義務教育学校を作るスケジュールで進んでいますか。

**【阿寒生涯学習課長】**

義務教育学校の開校時期は令和11年度を予定しています。

**【参加者E】**

進んでいると認識しました。

まちづくりについて、高齢化時代を迎えて、新しいまちづくりを進めるには、大変ご苦労されていると思います。先日新聞では釧路も人口減少とのことです。人口が増えているときのまちづくりは簡単ですが、この大きな人口減少の中でうまくいくのかと思っています。この前新聞に視聴者からの投稿で記載がありました。釧路の方ではありません。「人口減少で難しいですが、今まちを作り替えるということは、国のお金を使うので国の方針や考えを8割9割取り入れないとまちづくりができない。そうではなく、市が百数十億円出さなければならぬなら、本当に市民が必要な百数十億円のまちをつくったら、国も都道府県もJRも意見を言うことがなく、市民が望んでいるまちがつくれるのではないか」という投稿でした。これから大変だと思いますが、そのことを踏まえて新しいまちづくりをお願いしたいと思います。